

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市健康増進センター		
2 指定管理者	公益財団法人仙台市健康福祉事業団		
3 指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和2年度 8,570人（前年度比33.4%）：うち地域展開事業利用者 482人 平成31年度 25,682人（前年度比86.2%）：うち地域展開事業利用者 2,533人 平成30年度 29,778人（前年度比102.9%）：うち地域展開事業利用者 2,680人		
	《事業》 生活習慣病予防や高齢者の介護予防、障害者の健康づくりの3つの事業を中心に、健康リスクを抱えた市民への専門的な健康づくりを展開 ・生活習慣病の予防 ・高齢者の介護予防 ・障害者の健康づくり ・健康度測定の実施と健康づくり支援プランの作成 ・指導者養成 ・出前講座		
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 206,507千円 (224,539千円) ・ その他市が負担した費用 千円 (千円) 《収入》 ・ 使用料収入 2,610千円 (6,729千円) ・ その他収入 千円 (千円)		()は前年度決算額
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 他各事業ごとに利用者アンケートを実施し企画・運営の参考に行っているほか、館内に2か所アンケート回収場所を設置し利用者の意見を集めている。いただいた意見は、速やかに対応を協議し、改善に努め、また、館内の情報コーナーに掲示している。事業休止中は郵送による各種連絡・健康啓発に加え、電話による利用者の状況把握・支援継続に努めている。また休止に伴い生じた料金還付について還付作業を実施し完了している。		

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	生活習慣病予防、高齢者の介護予防、障害者の健康づくりを3本柱に、健康リスクを抱えた市民への専門的な健康づくり支援を積極的に行っている。健康リスクを抱える市民の他、その支援関係者も対象とした研修実施など、人材育成にも積極的に取り組んでいる。また、障害者の健康づくりの推進にあたっては、障害者分野で取り組んでいるネットワーク形成事業にも参画し、研修企画や障害者の健康情報の提供などを積極的に行っており、障害者の健康づくりの推進に寄与している点においても評価できる。	30/30
II 施設の運営管理体制	様々な健康リスクのある方が安全に安心して施設利用できるよう、安全確認や誘導、見守りなどの体制を組んで、受け入れを行っているほか、危機管理に関するマニュアルとして「救急対応マニュアル」や「緊急対応マニュアル」など各マニュアルを整備し組織内での共有するなどの対応も行っている。また、「個人情報取扱遵守事項」の全職員配布・事務室内での掲示による情報セキュリティ対策や個人情報保護の管理徹底など、施設の運営管理や利用者の安全・安心のための必要な対策がとられており評価できる。	24/24

<p>Ⅲ 施設・設備の維持管理</p>	<p>開設当時から使用している設備も多く、雨漏りの問題も顕在化しているが、雨の都度点検を行い、令和2年度は地震による屋上壁面亀裂の修繕など必要な措置を行っている。また、敷地内の段差をなくしたり、施設の清潔の保持を徹底するなど、市民が快適で安全に、安心して利用できる施設として維持管理されている。更に、安全に運動できる室温等の環境管理に十分に留意しつつ、仙台市環境行動計画に則って節電を行っている事やごみの分別、リサイクルなどに積極的に取り組んでおり、評価できる。</p>	<p>24/24</p>
<p>Ⅳ サービスの質の向上</p>	<p>センターだよりの毎月発行や、市政だよりのホームページ、地元紙の活用等により、健康づくりや各種事業に関する情報を発信するほか、関係団体と共催での事業を実施するなど、健康づくりに関する啓発に積極的に取り組んでいる。また、センター利用者に対する受付関連マニュアルの整備、教室実施前後のスタッフミーティングの実施等、利用者へのサービス水準を確保するための取り組みを行っている。</p>	<p>28/28</p>
<p>Ⅴ 施設固有の基準</p>	<p>健康リスクに対応した健康づくりの推進のため、特に障害者の健康支援として、各区障害者自立支援協議会の実務者ネットワーク構築に努めたり、介護予防に関するワーキンググループに参加するなど、積極的な活動を行っている。また、障害者総合支援センター、北部発達相談支援センターとの間で、より良い施設運営を図るために定例ミーティングを行っている。その他、地域関係機関と連携した健康講座の開催も増えており、活動の幅の広がりが見られている。</p>	<p>7/7</p>

三 評価総括

<p>《指定管理者（（公財）仙台市健康福祉事業団による自己評価）》</p>	
<p>1 健康づくり事業について</p>	<p>年度当初の施設利用休止期間には、外出自粛による生活習慣病予防を啓発するため、いち早く自宅で出来る運動や栄養バランスのとれた簡単調理レシピの動画配信、教室参加者へのリーフレット送付等を行った。一方、コロナ禍における高齢者や障害者の生活状況調査、地域活動状況調査を行い、結果の一部を地域保健福祉業績集へ発表するとともに、事業へフィードバックしている。また、コロナ禍でも安全に行える運動の実践として、当センターで作成したウォーキングマップを活用した「健幸ウォーキング」と仙台市と共同制作した杜の都の体操シリーズを「青空ストレッチ」として実施した。なお、ウォーキングマップについては、新たに2コースを開発し、全11コースが無料ダウンロード可能である。さらに、新しい生活様式に則り需要が増加すると予想されるオンラインでの事業開発を進めた。障害者通所施設と共同し、オンラインでの運動プログラムを試行・開発した。</p>
<p>2 指定管理事業全般について</p>	<p>新型コロナ感染拡大防止対策では、市と調整を行いながらガイドラインに則り対応するとともに、重症化リスクの高い方が利用する施設であることから、独自に対応マニュアルを作成し、状況により適宜見直しながら運営にあたった。入館者のスクリーニングや使用物品の消毒の徹底、職員の移動自粛等の努力を継続している。</p> <p>開館から27年を経過し、各設備の老朽化に加え、地震による損傷も増加している。令和2年度は冷温水発生機・空調機・消防設備・エレベーター設備修繕や躯体ひび割れ補修を実施した。個人情報管理は、研修と自己チェックにより職員の意識を高めるとともに、管理を徹底し、事故防止に努めている。環境面は、入居団体にも協力をいただきながら新・仙台市環境行動計画に添ったごみ減量とリサイクル促進、省エネを推進している。</p>

<p>《施設設置者（仙台市）による評価》</p>	<p>総合評価</p>
<p>指定管理者がこれまで蓄積してきた専門的な知識や経験、人材により、生活習慣病予防、高齢者の介護予防、障害者の健康づくりに関する各種事業が着実に実施されている。特に障害のある方への健康づくり支援に関しては障害特性による健康リスクに応じた支援プログラムを作成し提供することで、障害者の継続的な運動実践につながっている。また、支援関係者に対する研修や情報提供などにより、通所施設などでの活動につなげている点などが評価できる。令和2年度の利用者数8,570人のうち障害者は3,728人と全体の43.5%を占め、障害者の貴重な運動の場となっている。</p> <p>施設管理については、北部発達相談支援センター、障害者総合相談支援センター、乳がん検診泉センターなど併設施設の維持管理も確実にしているほか、立地上トラブルの多い駐車場利用についても、併設施設間で情報共有をし、対応策を検討、実施している。また、老朽化が進む施設の点検を専門業者にも積極的に依頼するなど、施設管理も適切に行っている。</p>	<p>S</p>

四 その他特記事項

(上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する)

特記事項

新型コロナウイルス対策として施設の利用を中止とした際に、中止に向けた広報や電話対応を即座に行い、中止に伴う利用料返還の際も、迅速で適切な処理を行っており、また、再開の際にも、再開に向けた広報を即座に行い、感染症対策として窓口や施設における消毒なども施設管理者として適切に行っている。

コロナ禍における事業内容についても、80歳以上の高齢者を対象とした生活状況の調査や屋外での運動啓発事業の実施、自宅での運動や調理レシピの動画配信を行うなど積極的な事業展開を行った点や、障害者運動教室のオンラインプログラムの事業所との共同開発など、関係者との連携も継続して事業を実施した点が評価できる。

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保健衛生部健康政策課